

2026 年度一般選抜（コア試験）

出題ポイント

ドイツ語

【経済学部・文学部】

出題の意図

全体として、ドイツ語技能検定試験2級(「独検2級」)程度の基本的なドイツ語力を確認するための問題を出题しています。ヨーロッパ言語共通参照枠のB1におよそ対応するレベルです。Iが文法、IIが会話文の読解、IIIが評説文の読解、IVが和文独訳の問題で、総合的にドイツ語力を判断します。

経済学部コア試験

解答又は解答例

(和訳と独作文については一つの解答例です。)

- I. A (1) 1 (2) 1
B (1) 1 (2) 4 (3) 3 (4) 3
C (1) Je deutlicher du sprichst, (desto besser kann ich dich verstehen).
(2) Um (wie viel Uhr beginnt der Vortrag)?
- II. (1) 3
(2) 2
(3) 2
(4) 3
(5) 1
(6) ヴィンテージファッションは消費社会から逃れるすべではありません。この種の服に対して多くのオンラインの注文があるからです。
(7) 2, 4 (順不同)
- III. (1) 2
(2) 3
(3) 4
(4) 4
(5) 蛾が明るく光っている電灯の近くに飛んでいくと、突然それを月だと勘違いして、電灯をたよりに自分の飛行ルートを決めてしまう。
(6) 2, 5 (順不同)
- IV. 解答にはさまざまな可能性がありますので、以下のものは一例にすぎません。
Als meine Mutter Studentin war, hat sie Deutsch gelernt. Damals gab es noch kein Internet, deshalb hatte sie viel weniger Gelegenheiten, Deutsch zu hören oder zu lesen als heute. Heute

kann man im Internet Artikel auf Deutsch lesen oder deutsches Fernsehen sehen. Deshalb beneidet mich meine Mutter.

Manchmal sagt sie: „Ach, hätte ich doch auch als Studentin das Internet benutzen können!“

Ich denke, dass unsere Zeit sehr gute Möglichkeiten bietet, Fremdsprachen zu lernen. Aber ich glaube nicht, dass das Lernen einfach ist. Jetzt möchte ich mit allen Mitteln, die mir zur Verfügung stehen, fleißig Deutsch lernen, später in Deutschland studieren und schließlich dort arbeiten.

文学部コア試験

解答又は解答例

(和訳と独作文については一つの解答例です。)

- I. A (1) 3 (2) 2
B (1) 4 (2) 1 (3) 4 (4) 3
C (1) (Die Adventzeit beginnt immer an einem) Sonntag.
(2) Österreich (ist ungefähr so groß wie) Hokkaido.
- II. (1) 4
(2) 1
(3) 手で書くことが少なくなればなるほど、それは大変になり、手書きの文字はよめないものになっていくのだ。
(4) 2
(5) 3
(6) 3
(7) 2, 5 (順不同)
- III. (1) 4
(2) 2
(3) 3
(4) 1
(5) デジタル機器を使わないオフラインクラブでは、とりわけコンタクトが取りやすい。というのも、モニターを見なければ自分の周りの人に気がつくからだ。
(6) 2
(7) 1, 3 (順不同)
- IV. 解答にはさまざまな可能性がありますので、以下のものは一例にすぎません。
Wenn wir reisen, machen wir wahrscheinlich viele Videos. Dadurch können wir nicht nur unsere Erinnerungen festhalten, sondern auch einen Teil des „Alltags“ des Ortes mit nach Hause

bringen. Beim Filmen können wir auch in Worte fassen, was wir in diesem Moment fühlen.

Auch Postkarten schaffen Erinnerungen in besonderer Form. Man kauft auf der Reise eine Postkarte, schreibt darauf, was man an diesem Tag erlebt oder gedacht hat, und schickt sie von der Post vor Ort an sich selbst. Dann bekommt man manchmal, wenn man schon wieder in den Alltag zurückgekehrt ist, eine Postkarte aus einer anderen Zeit und von einem anderen Ort – die Postkarte, die man sich selbst geschickt hat.

問題の構成

I (A) は基本的な単語のアクセントと発音を問う問題、I (B) は適切な単語を選択する問題、I (C) は与えられた単語を並び替えて正しい語順にする問題、II と III は長文読解問題、IV は独作文という構成です。

問題の特徴と解答の際の留意点

以下、各問題の特徴を解説していきます。

I (A) は単語の下線部にアクセントがあるかないかの問題です。分離前綴りにはアクセントがあり、非分離前綴りにはないこと、外来語の場合は第一音節にアクセントがないことが多いことを確認しましょう。また、語尾が-ie で終わる単語の発音は 1 つずつ覚えておきましょう。

I (B) は適切な語を補う問題ですが、前置詞の用法や冠詞や代名詞の適切な形、語順や慣用表現などです。I (C) は、与えられた語を並び替えて文、あるいは文の一部を作る問題です。動詞の位置や冠詞類の形、特定の構文（経済コアの(1)の je 比較級+desto 比較級、文学コアの(2)の so+形容詞+wie...など）に注目すれば正しい語順が導けます。

II と III は長文読解問題ですが、II は会話文、III は評論文です。長文読解は、全体を読んで内容をどの程度理解できているかを確認する問題になっています。また、文脈の中で特定の語句が実際にどのように使われているか、代名詞の指示するものを見極められるか、ドイツ語の表現をドイツ語で言い換えられるかを問うものが出題されます。

長文読解問題では、自分の知らない単語が出てきても前後関係から内容を類推して考えることが重要です。和訳の部分では、主語や時制を間違えずに理解して日本語に訳すことが求められます。意識をしても良いのですが、ドイツ語の文章を正確に理解していることが分かる日本語となっていることが求められます。長文読解の最後には、本文の内容と合っているドイツ語による説明を選択する問題が出題されています。自分の常識で判断するのではなく、書かれていることに即して選択

肢の文章と本文の内容と比較してください。IV は日本語で書かれた文章をドイツ語で表現する問題です。逐語訳である必要はないので、日本語の文章をよく読んでその内容をドイツ語で表現してください。日本語にとらわれて翻訳するというよりも、むしろドイツ語として読んで意味が通る文章を書くことが求められます。

学習へのアドバイス

ドイツ語の発音、アクセント、語彙、熟語を普段から意識して覚えることは言うまでもありませんし、基本的な構文の知識や文法の知識ももちろん必要です。長文の読解力を養成するためには、普段から長文のドイツ語の文章を読み慣れておく必要があります。現在ではインターネットで様々なレベルのドイツ語を読むことができます。特にドイツの国際放送事業体ドイツ・ヴェレ (Deutsche Welle) のサイトにはレベル別の優れた学習教材が無料で提供されているので、ぜひ活用してください。

長文読解は、分からない単語があっても、その単語にこだわらずに全体を読み進めて、内容を理解することができるとよいでしょう。ただ、もちろん語彙力があつたほうがいいので、一つのテキストをざっと読んだあとに、分からなかった単語を辞書できちんと調べて、それが出ている文全体を覚えるようにしてください。単語は多くの場合コンテキストによって異なる意味を持つので、単独で覚えるのは効率が悪い勉強法です。

そもそも読解力は母語の読解力と繋がっています。普段から日本語の本や新聞、雑誌などの文章を読み、何が書いてあったかをメモに取りながら自分の文章として再構成する練習をすると効果的でしょう。次に、そのメモをもとにドイツ語で文章にまとめてみましょう。これは高度な練習ですが、少しでもやっておくと、独作文の力が飛躍的に伸びます。